

議会改革の動き、活発化 議員有志が勉強会開催、議会は議会基本条例制定へ

上越市議会では、今年に入って議会改革の機運が強まってきています。まず4月8日に新人議員が中心になって「議員自己改革勉強会」がスタート。十数名の議員が参加しています。私も仲間に入れてもらいました。



バス路線に大きな関心

今年も「橋爪法一を囲む会」をはじめました。今年は週1回のペースでまわらせていただく予定です。よろしくお願いいたします。

5月の「囲む会」では、この一年間の議会の動き、私の活動などをスライドを使って紹介してから懇談に入っています。

吉川区にかかわる今年の重要課題は小中学校の児童生徒の通学支援制度、路線バスの変更などいくつかありますが、5月の「囲む会」では路線バス問題について、「電車との連絡はうまくいくのか」「バス代は子どもを自家用車で送るよりも安くしないと利用する人は少ない」など質問や意見が相次いでいます。

なお、吉川区総合事務所は6月中旬、路線バスの改正ダイヤ表を区内全戸に配布するとのことです。



この勉強会はこれまで2回開催し、あつべき議員の運営方法などについて意見交換してきました。参加した議員からは、「議員間でもっと討論する議会にしていこう」「市民が議会に参加していきける

ようにできないか」などの声が上がっています。議会全体としても動きが出てきました。市議会の基本を定める議会基本条例策定検討委員会が15日にスタートしたのです。この検討委員会は議長の提案により各派代表者会議で話がまとまりました。委員会の性格は議長との諮問機関です。冒頭の挨拶の中で山岸議長は、「地方分権時代にあつて提案型の議会にならないと市民の期待に応えられない。精力的に議論してほしい」とのべました。検討委員会の委員長には創風クラブの内山米六議員（大潟区選出）、副委員長には政新の岩崎哲夫議員が選出されました。内山委員長は、「上越市議会の最高規範を検討していただくこととなるが、市民に開かれ、親しまれる議会にしていきたい。上越市議会にふさわしい条例をつくりたいので、ご協力を」と挨拶しました。この日の検討委員会では、議会基本条例の検討方法について意見交換しました。私は、「上越市議会には先進的でいいところと改善すべき

ところがある。これまでの取り組みでいいところを生かして上越市議会ならではの条例にしていききたい。途中、何回か、直接市民の声を聴くことも大事なことで」と発言しました。他の委員からは、「独創力があり、これで上越市議会は大丈夫だと言われるものにしてよう」などの発言がありました。



【ニセアカシア】この木の白い花には甘い蜜がいっぱい。蜜を求めてたくさんのハチが集まります。木の近くにいれば、甘い香りが下りてきて、とてもいい気分になります。吉川区内では神田町、河沢、六万部などにあります。写真は上越警察署柿崎交番近くで20日撮影。

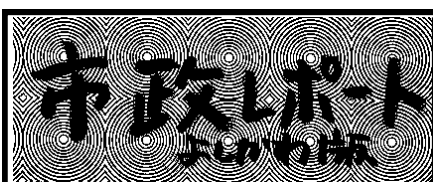
議会基本条例の策定については議員全体の勉強も必要とのことで、21日、新潟大学法学部の田村秀教授から市役所に来ていただき講義を受けました。（上の写真）

合併効果について疑問の声も

三和区での議会報告会盛況

市議会主催の議会報告会が20日、三和区でも開催されました。17日の市民プラザでの15人前後を大きく上回る50数人が参加しました。市民からの質問、要望は議会関連のものより

も河川改修、農道の舗装などどちらかと言えば行政向けのものが多く出ました。合併5年目の年ということもあって、「合併によってメリットはあったのか」「悪くなったことが多い気がする」など合併評価についての発言も目立ちました。次回は秋開催です。



NO 1398
2009.5.24

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
TEL 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/